

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
学共258	[水2]文講215	200	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	後学期	水2	国際地域創造学部国際地域創造学科
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
g00048002	人の移動とグローバル社会	2	
担当教員[ローマ字表記]			
宮内 久光			

## 授業の形態

講義、実務経験講師

## アクティブラーニング

学生が議論する、学生が文献や資料を調べる

## 授業内容と方法

現在、世界各地に在住する沖縄県系人は約40万人と推定され、ホスト社会における政治、経済、文化など様々な分野で活躍している。彼らは今日、「世界のウチナーンチュ」として、さまざまな形の越境的なウチナーネットワークを構築することで、ウチナーンチュとしてのアイデンティティと文化を保持・再生している。このような世界のウチナーンチュによる越境的なネットワークやデカセギ現象は、移動者本人の人生のみならず、様々な形で沖縄社会や日本社会にも大きな影響を与えている。近年は「世界のウチナーンチュ大会」をはじめとして、様々な交流が行われる。同様な動きは、沖縄県系のみならず、今日世界各地でみられる普遍的な現象といえる。このように、人の動きを通して21世紀のグローバル社会の一面を理解していくことが本講義の第一の目的である。授業形態は、沖縄・世界の人の動きと越境的ネットワークの諸相を講義形式で紹介するのみならず、ネットワークに関連する個人・団体によるゲストスピーチおよび受講生との交流なども取り入れる。このほか、移民名簿や資料のテキスト化を分担するとともに、それを集計・分析することや、各自で移民ネットワークに関連するイベントに参加して沖縄移民の子孫たちと交流することが第二の目的である。課題はWebClassやTeamsなどを利用して提出する。

## URGCC学習教育目標

地域・国際性、情報リテラシー

## 達成目標

- ①現代の移民に関連する現象について、グローバルな視点から理解する。（知識・理解）学士教育プログラムの学習教育目標（1）
- ②海外研修生や移民ネットワークの主体として活動している人々と交流して、移民現象について関心を持つ。（関心・意欲）学士教育プログラムの学習教育目標（1）
- ③現代の移民に関連する現象について、移民資料をデータ化や集計・分析したり、移民関連イベントに参加してレポートにまとめる。（思考・判断、技能・表現）学士教育プログラムの学習教育目標（3）

以上の達成目標に到達することにより、人文地理学の基本が身に付き、地理歴史人類学士プログラムの教育目標である

（1）地理学・歴史学・人類学に関わる専門的な諸資料（フィールドデータ、地理情報や統計資料、文献史料等）を正確に理解し、そこから課題を発見する能力

（2）上記の諸資料や諸情報を自ら収集・分析し、課題を解決する能力

（3）調査研究の成果を論文や報告にまとめ、地域社会・国際社会に向けて発信する能力の基礎が形成される。

## 評価基準と評価方法

評価の前提（全て満たしたうえで評価する）

- ・10回以上の授業に出席すること（代替作業を含む）。
- ・ハワイ移民の年譜作成（冬休み課題）および居住者名簿のテキスト化課題（最終課題）を提出すること。

評価の方法

- ・達成目標の①③の達成度をみるために、毎時間の確認テストまたは移民DB関係の作業を行う。（90点、6点×15回）
- ・達成目標の②の達成度をみるために、移民関係のイベントに参加する。（10点）
- ・その他、授業に関して特別な行為をした場合。（内容により加点、減点）。
- ・16回目の評価確認以降に、加点用作業を行う。（希望する点数）。

授業を「教育実習・介護等体験（出席扱い）」「コロナ欠席（出席扱い）」「やむをえない欠席（欠席扱い）」「その他の欠席（欠席扱い）」をする場合は、代替課題を行うことで確認テストに変えることができます。確認テストは授業内の作業課題に変えることがある。代替課題は次のA～Cの中から1つ選んでください。

A課題・・・移民関係のイベントに参加する。

B課題・・・移民研究センター（文総602-2）に来て、居住者名簿のテキスト化作業などを60分間行う。

減点について

- ・ハワイ移民の年譜作成（冬休み課題）および移民名簿のテキスト化課題（最終課題）を期日までに提出しない場合
- ・作成したテキスト化課題に間違いが多い場合
- ・授業中、周りに迷惑をかける行為をしている場合。

■ 履修条件

毎時間の確認テストは基本的にWebclassで行います。また、授業中に移民名簿や各種史資料のテキスト化を行います。授業中にはノートPC、タブレット、スマホなどを持参してください。

国立国会図書館の利用登録（無料）を行ってください。

■ 授業計画

1. 10月 1日 講義の概要説明・ ※確認テストなし
2. 10月 8日 世界の沖縄県人会①ハワイ ※確認テスト開始
3. 10月22日 世界の沖縄県人会②ペルー 外部講師 ※授業内作業開始
4. 10月29日 世界の沖縄県人会③ブラジル
5. 11月 5日 世界の沖縄県人会④アルゼンチン
6. 11月12日 浦添市南米子弟研修生との交流
7. 11月19日 越境的ネットワークー世界のウチナーンチュ大会①
8. 11月26日 越境的ネットワークー世界のウチナーンチュ大会②
9. 12月10日 ハワイ移民の年譜作成①
- 10.12月17日 ハワイ移民の年譜作成②
- 11.12月24日 ハワイ移民の年譜作成③
12. 1月 7日 世界の移民ネットワーク①
13. 1月14日 世界の移民ネットワーク②
14. 1月21日 移民データベースの作成
15. 1月28日 移民データベースの分析
16. 2月 4日 評価確認

なお、状況に応じて内容および指導順番、授業方法に変更があります。

■ 事前学習

移民関連の情報に関心を持ち、情報を入手しておく。

■ 事後学習

移民名簿のテキスト化などの課題を行う。

■ 教科書にかかわる情報

■ 教科書全体備考

特になし。

■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	躍動する沖縄系移民：ブラジル、ハワイを中心に				ISBN	9784779117091	備考	琉球大学人の移動と21世紀のグローバル社会, 10
	著者名	町田宗博, 金城宏幸, 宮内久光編							
	出版社	彩流社	出版年	2013	NCID				

## ■ ■ 参考書全体備考

## ■ ■ 使用言語

日本語

## ■ ■ メッセージ

- ・欠席については、メールなどで事前に連絡する必要はありません。
- ・欠席回数や授業確認テストの点数は16回目評価の時間よりも前に個別に教えることはありません。欠席回数や確認テスト点は日常的に自己管理してください。

## ■ ■ オフィスアワー

水曜日12時～12時15分 研究室

## ■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

## ■ ■ URL